

夕日一廿月二十

常警毎日新聞

定価 一紙五銭 一月五拾五銭 郵政五拾五銭
廣告料 五拾五銭 十二字第一行 金五拾五銭
日曜祭日の翌日休刊
発行所 常警毎日新聞社
印刷所 常警毎日新聞社

現代俳句評釋

飯田 殘 雪

◇朝寒さ水に冷たき竹の色

かういふ句と作つて得意がつてゐる様では困る。「朝寒」が「水に冷たき」と續くから、寒いとふことと、冷たいといふことが重な

る。この作者に表現力に乏しい人だ。一水「冷たき」の代り「何とか描寫出来なかつたかと思ふ。この句は月並である。

◇黍畑へ降る鴉や秋の雨

秋の雨かしく降つてゐる。あたりは灰色に煙つてさすかに淋しい。見てゐると 黍畑へ降りた一羽の鴉。何をしに来たのであらうじつと動かすに黍の中に居るらしい。さういふ情景である。平凡な句だが中々餘情を持つてゐる。石竹と云ふ人は初心の人の様に見えるが、どうして初心所ではなく、相當の経験を有してゐるらしい。

◇朝霧やたゞ灰色の船の數

望霧が流れてゐる中に船が幾つも水のトに浮んでゐる。それが灰色である。たゞ

灰色である。作者の眼は海上を眺めて感に打たれてゐるのである。前の二句に比べて數段の上であり、立派に堂に入つてゐる。もつとも、紅冠子と石竹は新進だが、鶴澤四丁は古い俳人である。秋聲會派の惑星である。段の違ふのは當然と言はねばなるまい。

た句であつて、芙蓉も女も格子の外にあるのである。芙蓉は女を暗示してゐる。その女が若くて美人であるのと思はせる。字餘りの句もさしてかういふ場合には目立たない。

◇秋燈に塑像を刻むメスの色

俳句よりも何か他のもののやうな氣がする。メスはどうかと思ふが、むしろのみではあるまいか。そしてこれは詩に遠いものである

【晝】つま揚 次郎長濱

【晚】酔の物 ちざり 芋 赤貝 もみのり 甘 酢 いかなべ いか 布目 焼豆腐 くわ

◇誰がためもなく粧ふて朝寒や ゆめ女

女流のよい所がよく現はれてゐる。女らしく朝起き出でると鏡に向つて化粧をする。ほんのりと白い顔よそれは誰に見せるのでもない。しかし、今朝の寒いことはどうであらう、もう秋も深いのであらう。それが實によく表現されてゐる殊に「朝寒や」が非常に利いてゐる。

◇芙蓉みゆ格子のそとに女待てり 白夜

一幅の日本畫である。この句は家の中から屋外を見

宗正らひた

美味! 芳醇!

山崎合名會社 電話一〇番

店主が店員	を連れて行	か	れ	る	食	堂
正	シ	イ	イ	イ	酒	場
正	シ	イ	イ	イ	酒	場
正	シ	イ	イ	イ	酒	場

平・田町
レストサロン
電三五二番

十二月二十日ヨリ 五 日 間 三井の歳暮大賣出し

必ず御満足遊ばす、商品豊富!!! 値!!! 柄!!! 全商品大奉仕 御贈答格安品!!! 絹布思ひ切つた大提供!!!

絶賛新製品
初春日衣裳大特賣 錦紗小紋と訪問着
御婚禮衣裳大提供 江戸袷 丸帯 錦紗小紋 御召羽二重紋付 袴地 御召二枚重

破格品 越後 紬

本場村山大島 五、八〇
秩父銘仙 三、〇〇
昭和絹大島 一、八〇
レーヨン小紋 二、三〇
全正田福福袴向 一、五〇
縮緬風呂敷箱入 二、〇〇
モス着尺 二、八〇

三井呉服店 電話三八・二八四番

外國製品を凌駕する 優良純國産品 工學博士小林久半先生指導創製

硝金食 子 器屬器

新川町 松崎硝子店
二丁目 白土屋陶器店
大藤倉糸店
五丁目 江陶器店
鎌田武子商店
長橋小野作商店
土橋マルマン商店

許特賣專 磨き 七十ヶ一

左記販賣店よりお求め下さい

和漆器家具は 和久井屋 平町亭子目 電話四〇五番

父員正儀永らく病氣靜養中の處藥石効なく廿日午前一時二十分死去致し候に就き生前尋知各位に此の段謹告候

追而葬儀は二十二日午後一時自宅出棺大寶寺に於て佛式により告別式相替み申べく候

十二月二十日

男 親戚 總代 友人 總代

伊坂道雄 伊坂伍忠 宮内助 高野榮太郎 青沼榮太郎 楠田太郎

内外科科一般 金成醫院 平鎌田町(電三五八)

年賀状

第一日受付数

昨年より増加

年賀切手で一苦勞

昨日より年賀郵便の取扱を開始した平郵便局の第一日取扱数は七千二百二十七通で昨年第一日の六千四百八通より八百十九通、一割三分の増加を見せたが同局が鳴物入りで宣傳した程には賀状の早期吸收が徹底

第三校の

運動場敷地

買収圓滿に纏る

來年度を待つて埋立

既報第三小學校運動場擴張に伴ふ敷地買収は數度の買収交渉も不調に終つて去る十七日の委員會に於て愈々既定方針通り土地收用法適要の餘儀なきに至つたがその後昨日迄に不承諾地主四名中諸橋國松、酒井常吉、山下芳明の三氏は町側の三圓説に妥協し残る長谷川浩太郎氏のみ決定を見ず危惧

産業組合が

指定旅館決定

石城産業組合は各町村組合役員其他が出張宿泊する際

(平)住吉屋支店 甲陽館
(小名濱)新米 吉田屋
本店(四倉)柏屋 海氣館
(湯本)松柏館 山形屋
(植田)山田屋本館(勿來)湖口

各校の奉祝

御誕生日と學童

皇太子殿下御誕生日の奉祝子供日は明後廿三日平町各小學校で夫々の催しに真心こめて舉げられるが各學校共に全校兒童の奉祝作品を廊下一杯に飾付けて人眼を引く審査の上優秀作品には御褒美を呉れる外各校の催しとしては

平第一校 午前八時より左のプログラムにより全校兒童の球戯大會を開く

(一年)紅白毬入(二年)綱引 紅白毬入(三年)幅子取 綱引(四年)ドッチボール フットベイスボール(六年)高一(二年)ブルグラウンドボール(五)

贈答用の

小荷物が激増

荷造りに就いて

平驛から注意書

平驛の小荷物は歳末繁忙期に入つたので贈答用小荷物が増加し取扱数は平常の四割以上を増加し二百六十ヶから三百ヶを取扱つて居るが中には荷造り不完全なものも多く取扱上に支障を來すので今廿一日左の注意書を各方面に配布した

ら商店名は「鈴木商店」でなく「鈴木一郎商店」と記入する
一、荷札が落し易いから荷物自體にも住所姓名を記入する
一、荷物を發送後必ず先方へ案内状を出して欲しい
軍人後援會が

會員證を

平分會に配布

帝國軍人後援會平分會の新加入者に對して今回縣支部より會員證會員徽章並に門標等交附あつたか特別會員五名、通常會員二名、贊

歳末の平署と

犯罪豫防週間

一日から廿七日迄管内一齊に施行開始されたが宣傳ビラチラシ等を撒布する外柴田平署長は期間中各劇場並に學校講堂等に於て犯罪豫防に對する講演をすることになつた

校長會議

第三區の集り

第三區校長會は今廿一日平第一小學校に開かれ左記事項に付いて協議した

御眞影並に勅語奉本奉置の件 第三區女子青年團大會催催の件 年末慰勞金支給に關する件 豫算編成中各種團體に對し特別に負擔すべき金額計上の件

診療班の日割

生課巡回診療班本月の診療日左の如し

高久産業組合 高久村産業組合は明廿二日午後一時から同村小學校で産業組合家の光青年會發會式を舉げ午後六時から同校内で組合宣傳の映畫會を催すと

圖書教育研究

圖書教育研究會石城支部主催の第二回圖書研究會は來月四日より三日間午前九時より四時まで平第二小學校講堂に開催、石膏胸像、靜物、人物等をモデルに描畫實技を行ふと尚第三回都下兒童圖畫競技會は二月廿三日に開催することに決定した

平町人事

回生 出

平警察署並に縣刑事協會平支部の犯罪豫防週間には本廿一日から廿七日迄管内一齊に施行開始されたが宣傳ビラチラシ等を撒布する外柴田平署長は期間中各劇場並に學校講堂等に於て犯罪豫防に對する講演をすることになつた

常在院送葬の際は御多忙の折にも不拘遠路御會葬被下且御鄭重なる御香奠を賜はり御芳情誠に難有奉深謝候略儀甚だ乍失禮右以紙上御禮申上げ候

昭和十年十二月二十一日

大谷 武久 同雄藏
大谷 武久 同雄藏
外親 戚 一 同雄藏

頭部を紛碎された

無惨な屍體路上に

◆…轢き逃げ自動車の

◆…行方を目下嚴探中

十九日午前六時頃小名濱町松之中地内縣道に推定年齢五十歳位の男の變死體ある

を通行人が發見届け出たので菊地警部補で宮澤醫師検

視立會の結果同町定西周旋業多吉實父中村音吉(六〇)と云ふ精神病者(同日午前四時頃タイヤ様のもの頭部を紛碎され即死したものと判明、同町は現在鬮豊漁で他縣方面よりもトラック運

行頻繁のため之等トラック中に轢き逃げ犯人あともと睨み嚴探中

で壓死せる變死體を發見したが右屍體は同礦後山婦同村北好間字三反田山本キク(四)で落磐のため全身に打撲傷を受け即死せるものと判明した

貧困者に

百餘圓給與

平町歳末救濟

平町は昨日日豫て同情週間に際して募集した金額のうち要救護者八十六戸三百二十二人に對して百五圓二十錢を給與した尙餘は舊曆になつて給與する筈

平驛を中心に来春から運轉を開始するガソリンカーの乗客を吞吐する構内の各種設備は目下平驛で調査中であるが平驛のガソリンカー發着所は磐越東線下りホームを使用する事となつて居り現在のホームでは短か過ぎるので新たに長さ五十九米、幅九米を延長せしめ更に磐越線ブリツチ昇降口の片側のみを兩方面から昇降せしめる様に改築する計畫を立て今廿一日水戸運輸事務所に申請した

平驛を中心に来春から運轉を開始するガソリンカーの乗客を吞吐する構内の各種設備は目下平驛で調査中であるが平驛のガソリンカー發着所は磐越東線下りホームを使用する事となつて居り現在のホームでは短か過ぎるので新たに長さ五十九米、幅九米を延長せしめ更に磐越線ブリツチ昇降口の片側のみを兩方面から昇降せしめる様に改築する計畫を立て今廿一日水戸運輸事務所に申請した

平驛を中心に来春から運轉を開始するガソリンカーの乗客を吞吐する構内の各種設備は目下平驛で調査中であるが平驛のガソリンカー發着所は磐越東線下りホームを使用する事となつて居り現在のホームでは短か過ぎるので新たに長さ五十九米、幅九米を延長せしめ更に磐越線ブリツチ昇降口の片側のみを兩方面から昇降せしめる様に改築する計畫を立て今廿一日水戸運輸事務所に申請した

平驛を中心に来春から運轉を開始するガソリンカーの乗客を吞吐する構内の各種設備は目下平驛で調査中であるが平驛のガソリンカー發着所は磐越東線下りホームを使用する事となつて居り現在のホームでは短か過ぎるので新たに長さ五十九米、幅九米を延長せしめ更に磐越線ブリツチ昇降口の片側のみを兩方面から昇降せしめる様に改築する計畫を立て今廿一日水戸運輸事務所に申請した

温い座布團を

行路病者に

鶴屋主人の美譽

平町四丁目鶴屋商店主猪狩庄平氏は今般平町に於て救護收容中の行路病者に對して布團三枚を寄贈した。右に就いて松本庶務課長は左の如く語つてゐた

時節柄斯うした寄贈は誠に感謝に絶えませんが、亦一般家庭に於ても不用物等で捨てるものがあればどん／＼寄贈して、町の斯の種事業に援助して欲しいものだ

貧困者達に 平町極茶袋一本宛 穂小路茶商大隅金藏氏は今般の同情週間に際して貧困者八十戸に對して茶袋一本宛を寄贈した

平町南町日本基督平教會のクリスマス祭は来る廿四日午後六時から左の如き子供達の演技賑やかに催される 歓迎の歌 お爺さんと子

天に榮光 地には恵み 日基のクリスマス

平町南町日本基督平教會のクリスマス祭は来る廿四日午後六時から左の如き子供達の演技賑やかに催される 歓迎の歌 お爺さんと子

平町南町日本基督平教會のクリスマス祭は来る廿四日午後六時から左の如き子供達の演技賑やかに催される 歓迎の歌 お爺さんと子

平町南町日本基督平教會のクリスマス祭は来る廿四日午後六時から左の如き子供達の演技賑やかに催される 歓迎の歌 お爺さんと子

平町南町日本基督平教會のクリスマス祭は来る廿四日午後六時から左の如き子供達の演技賑やかに催される 歓迎の歌 お爺さんと子

平町南町日本基督平教會のクリスマス祭は来る廿四日午後六時から左の如き子供達の演技賑やかに催される 歓迎の歌 お爺さんと子

平町南町日本基督平教會のクリスマス祭は来る廿四日午後六時から左の如き子供達の演技賑やかに催される 歓迎の歌 お爺さんと子

平町南町日本基督平教會のクリスマス祭は来る廿四日午後六時から左の如き子供達の演技賑やかに催される 歓迎の歌 お爺さんと子

平町南町日本基督平教會のクリスマス祭は来る廿四日午後六時から左の如き子供達の演技賑やかに催される 歓迎の歌 お爺さんと子

平町南町日本基督平教會のクリスマス祭は来る廿四日午後六時から左の如き子供達の演技賑やかに催される 歓迎の歌 お爺さんと子



明日のラジオ 廿二日 報豫氣天 今明も明日も北 西の風晴曇半す

後九、三〇時報 ニュー氣象通報 番組豫告 明日の部 前九、三〇うたのおけい 柴田秀子 前一〇、〇〇 内閣創設五十年記念放送 首相官邸及スタヂオより 前一一、〇〇 講演「農山村副業としての鱒飼育法」明石博次 後一〇、〇五 講演「滿洲國の通貨と金融事業」山成喬六：新京

後一、二〇 義太夫「一谷嫩軍記」藤原明石「靈坂」吾孫子禮「極彩色娘」扇原嘉幸 後二、一〇 ラヂオコメディー「喧嘩上手」金杉淳郎外 後六、〇〇 子供の時間 お話「冬至」水野良平 後七、二五 クリスマス音極國際放送 ドイツより 後八、〇〇 日曜特輯「ニュース演藝」A.K.文藝部編輯 後八、五〇 ラヂオ小説「ハッスル蝸牛」徳川無聲

ガソリンの運轉で

平驛構内を改造

平驛を中心に来春から運轉を開始するガソリンカーの乗客を吞吐する構内の各種設備は目下平驛で調査中であるが平驛のガソリンカー發着所は磐越東線下りホームを使用する事となつて居り現在のホームでは短か過ぎるので新たに長さ五十九米、幅九米を延長せしめ更に磐越線ブリツチ昇降口の片側のみを兩方面から昇降せしめる様に改築する計畫を立て今廿一日水戸運輸事務所に申請した

平驛を中心に来春から運轉を開始するガソリンカーの乗客を吞吐する構内の各種設備は目下平驛で調査中であるが平驛のガソリンカー發着所は磐越東線下りホームを使用する事となつて居り現在のホームでは短か過ぎるので新たに長さ五十九米、幅九米を延長せしめ更に磐越線ブリツチ昇降口の片側のみを兩方面から昇降せしめる様に改築する計畫を立て今廿一日水戸運輸事務所に申請した

平驛を中心に来春から運轉を開始するガソリンカーの乗客を吞吐する構内の各種設備は目下平驛で調査中であるが平驛のガソリンカー發着所は磐越東線下りホームを使用する事となつて居り現在のホームでは短か過ぎるので新たに長さ五十九米、幅九米を延長せしめ更に磐越線ブリツチ昇降口の片側のみを兩方面から昇降せしめる様に改築する計畫を立て今廿一日水戸運輸事務所に申請した

平驛を中心に来春から運轉を開始するガソリンカーの乗客を吞吐する構内の各種設備は目下平驛で調査中であるが平驛のガソリンカー發着所は磐越東線下りホームを使用する事となつて居り現在のホームでは短か過ぎるので新たに長さ五十九米、幅九米を延長せしめ更に磐越線ブリツチ昇降口の片側のみを兩方面から昇降せしめる様に改築する計畫を立て今廿一日水戸運輸事務所に申請した

平驛を中心に来春から運轉を開始するガソリンカーの乗客を吞吐する構内の各種設備は目下平驛で調査中であるが平驛のガソリンカー發着所は磐越東線下りホームを使用する事となつて居り現在のホームでは短か過ぎるので新たに長さ五十九米、幅九米を延長せしめ更に磐越線ブリツチ昇降口の片側のみを兩方面から昇降せしめる様に改築する計畫を立て今廿一日水戸運輸事務所に申請した

解らぬ借金額で

主人と雇女が平署に争ふ

平署の人事相談所に本日午前中酌婦體の若い女とその主人とおぼしき男が何事か争つてゐたが

この女は山形縣米澤市免許町料理業巴屋方女中同縣東置賜郡八代村生れ管野ツネ(二)で十一歳の時前記巴屋に雇はれたが借金か幾らあるか判らず以前米澤に居た同女の情夫

平署の人事相談所に本日午前中酌婦體の若い女とその主人とおぼしき男が何事か争つてゐたが

平署の人事相談所に本日午前中酌婦體の若い女とその主人とおぼしき男が何事か争つてゐたが

平署の人事相談所に本日午前中酌婦體の若い女とその主人とおぼしき男が何事か争つてゐたが

平署の人事相談所に本日午前中酌婦體の若い女とその主人とおぼしき男が何事か争つてゐたが

平署の人事相談所に本日午前中酌婦體の若い女とその主人とおぼしき男が何事か争つてゐたが

平署の人事相談所に本日午前中酌婦體の若い女とその主人とおぼしき男が何事か争つてゐたが

藥師如來の御堂を再建

平町長橋 性源寺の境内に 町性源寺の本堂に遷座して居る藥師如來は今より約八百年前惠真、雪淡、丹溪、安彌の合作と傳へられ古い頃は同寺境内の御堂に安置されて居たが明治三年平町大火の難に遭遇し御堂が烏有に歸して以來本堂に遷つた儘今日に至つて居るので同町遠藤藤林藏、竹原次英、關内信二郎の三氏は御堂を再建して毎月縁日を聞き信仰を新たにせんと發願奉賛會を組織し會員募集中であるが五圓以上の會員は賛助員とし護摩札の外永代家門の繁榮を祈願すると

平町長橋 性源寺の本堂に遷座して居る藥師如來は今より約八百年前惠真、雪淡、丹溪、安彌の合作と傳へられ古い頃は同寺境内の御堂に安置されて居たが明治三年平町大火の難に遭遇し御堂が烏有に歸して以來本堂に遷つた儘今日に至つて居るので同町遠藤藤林藏、竹原次英、關内信二郎の三氏は御堂を再建して毎月縁日を聞き信仰を新たにせんと發願奉賛會を組織し會員募集中であるが五圓以上の會員は賛助員とし護摩札の外永代家門の繁榮を祈願すると

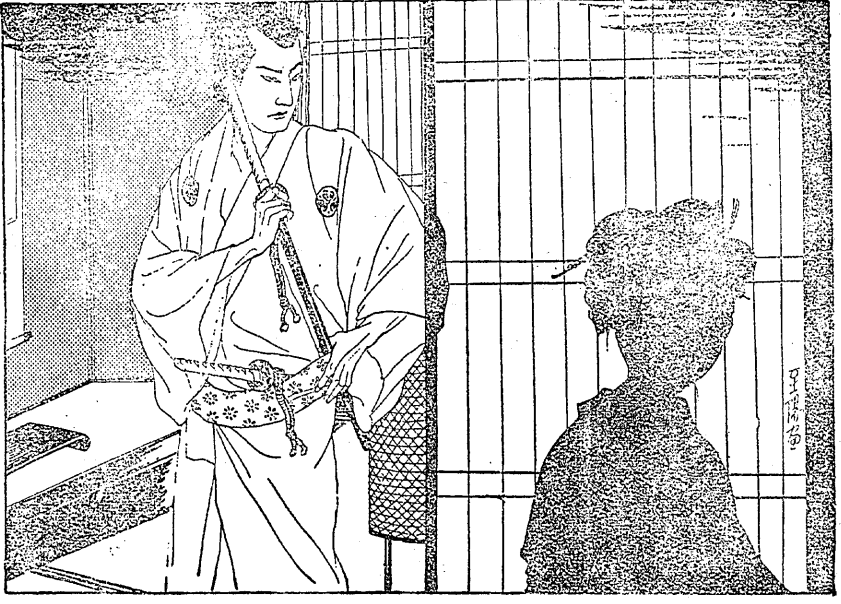
平職業紹介所報告

- △人を求める方
- △ゲーム取見習 廿七才迄
- △月給五圓
- △外交員 卅才迄 給料歩合
- △女中 四十才迄 月給八圓
- △回 職を求める方
- △集金人 卅四才 中二修
- △炊事婦 四十三才 尋四修
- △料理人 卅五才 尋卒
- △左官職 廿三才 高三修
- △鐵工 十七才 高卒
- △機械工 十九才 高卒



巻解 瓦解の謎 (作) 悟道軒圓玉 (畫) 丸尾至陽

一 手切金百五十兩
 定次郎は花の顔をデツと見、ふたり
 定「異人、妾なるにしては定め、纏まつた金をもらふだらう」
 花「二百兩ばかりもらつたからぬ」
 定「そいつは、漁だ、しかしお花どういふ縁で異人がお前を妾にするか」
 花「お前さんも聞いたであらうが、この間観音様へ異人がお詣りに来た時に、大勢に取りまかれて殺されやうとしたところを妾が助けたことかあるの」
 定「ウム、その事は聞いた櫻屋のお花は異人を助けたが彼奴、切支丹宗だらうなぞと、ふ者もある」
 花「異人を助けた、ために今度おの人の世話をすることになつたが、しかしわたしは操は洗しません、異人の面倒、見んが、お寝間のお伽はしないつもりさ」
 定「よくそれで異人が承知したな、しかしお花、此件は三島に話して置かぬと苦情が出る、お前のためには三島は亭主だ」
 花「何れ三島さんにも話をすれば、それを就いては



兄さん厭なことを聞いても、らはなければならぬが、三島さんかお前さん道樂者には呆れてゐるし、またわたしもお前さんのやうな立派な兄さんが付いてゐては出世することも出来なからぬ」
 兄さん厭なことを聞いても、らはなければならぬが、三島さんかお前さん道樂者には呆れてゐるし、またわたしもお前さんのやうな立派な兄さんが付いてゐては出世することも出来なからぬ」

ふ通り俺は道樂者で、この根性は腐つてゐる、自分でも善くねえことは知つてゐる、しかしな、魂を洗濯し、奇麗にするには出来ぬ、また俺の様な見貴があれはこそ三島もお前と晴れて夫婦にもならぬ、それらを考へるとお前には氣の毒だ、よ、望み通り兄妹、縁は切つてやる」
 花「不實のやうだがわたしは、そこはあきらめておくんなさいよ」
 定「ところで縁切りの金はいくらくれるな」

らう。今までお前さんのためにはつらい事もしてゐるが、どうだらう兄さん、こゝで兄妹の縁を切つてはくれませんか」
 定「ウムさうか、お前のい

のうお花、子を見ること親に如かずといふことがあるが、此んだ親父は目が高いぜ、女ではおれでお花はしつかりものだ、男のやうな氣性だ、あれが男であつたならば家名を汚すやうなこともなからうといつたが親父の見た通り俺はこんなやぐさのもの、どうしてあんな堅い親父の倅に俺のやうな道樂者が出来たか、こいつは神様、いたづらだ」
 花「しかし兄さん、お前さんは劍術も出来るし、これに馬に乗ることも人に優れてゐて、それを教へても立派な先生になれると聞いたが、そんな藝を身につけてゐながら手慰みをして飛んで歩くとは、お前さんお變りだね」
 定「ウム、そいつは俺も時々思ひ出すよ、アその内には何んとかなるだらう、人は寝てゐる時ばかりはなからう、魂が目覚ますこともあるだらう」
 花「しかし兄さん、兄妹の縁は切るにしてもお前さんと血のつながつてゐる仲、年を老つて體が利かなくなつたとか、また病氣の時、使をよこして下さるときつと面倒は見ますよ」
 定「馬鹿なことをいふな、俺も道樂者だ、一旦兄妹の縁を切つた上はお互に赤の他人だ、體が悪くなつて兩杖にすがらば歩くことの出来ぬやうになればとお前のところへ無心には行かぬよ」
 花「おやさう、それでは兄

花「白五十兩でまけておくんなさい、あとの五十圓はわたしの支度料になるから」
 定「よしそれも判つた、では早速百五十兩貰つてゆく

さん體を大事にして……出ないこと、は思ふが堅くなつてくださいよ」
 定「そいつは暇な時に悠然考へることにしやう、サア金を出してくれ」
 花「それではこれだけ持つて行つてください」
 定「有難い、久し振りでまとまつた金を見るぜ」
 と定次郎は紺天の三ツ巻の財布にこの金を入れ、定「それでお花さん、随分お達者でお過ごしなさいまし、お目にはかゝりせんか、旦那によろしく」
 出ようとした時にお花が花「兄さん、後のためだから書付を出して下さい」
 定「問拔けなことをいふな男が一旦ウムといつた上は書いたものより確な證據だまた後々のために書付が

忘年御宴會

毎度格別ノ御最良いたゞき難有ク御禮申し上げます
 愈々年末新年の御宴會季節と成りましたので忘年會新年宴會ノ御下命賜り度 關禮様には徳用下記弊館御宴會規定を精々御利用下され度御願申し上げます

松印	3.50	御會席七品付(外果物御飯香物) 共一式
竹印	3.00	御會席六品付(外果物御飯香物) 共一式
梅印	2.50	御會席五品付(外果物御飯香物) 共一式

但十人様以上ノコト 藝妓五人様毎ニ一人二時間(松印ニ限リ半十人様ニ一人付) 御酒ハ御一人銘酒二本ツノコト
 ◇御申込は時節納るべく至急下記へ

お問合せは 電話(小名濱) 103番 通話料は弊館にて負擔いたします

小瀧鑛泉 瀧の湯旅館 電 103番 割烹部

皆様の足? 尼子タクシーへも豆タクが入りました

御立關から立關へ 迅速簡便 是非御利用を

市内 三〇錢
 市外 四割引

流線型セダン 大型貨切バス

宮行—直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします 平町二丁目

尼子自動車商會 電話 六四〇番

新年御宴會

毎度格別ノ御最良いたゞき難有ク御禮申し上げます
 愈々年末新年の御宴會季節と成りましたので忘年會新年宴會ノ御下命賜り度 關禮様には徳用下記弊館御宴會規定を精々御利用下され度御願申し上げます

松印	3.50	御會席七品付(外果物御飯香物) 共一式
竹印	3.00	御會席六品付(外果物御飯香物) 共一式
梅印	2.50	御會席五品付(外果物御飯香物) 共一式

但十人様以上ノコト 藝妓五人様毎ニ一人二時間(松印ニ限リ半十人様ニ一人付) 御酒ハ御一人銘酒二本ツノコト
 ◇御申込は時節納るべく至急下記へ

お問合せは 電話(小名濱) 103番 通話料は弊館にて負擔いたします

小瀧鑛泉 瀧の湯旅館 電 103番 割烹部